

平成 28 年 2 月 6 日  
愛知県心身障害者コロニー

## 地域生活を支援する拠点センター機能の充実に向けて ～ 重症心身障害児者支援体制等について ～

コロニー再編計画等において、再編後のコロニーは、入所者の地域生活移行の推進及び地域で生活する障害のある人を支援する拠点センターに転換することとされている。

平成 28 年度から、こばと学園は改築後の重心棟で新たな入所児者を迎え入れた運営を開始するほか、県内各地には新たに重心施設（療養介護事業所）が順次開所されるなど、重症児者を取り巻く支援環境の変化が見込まれる。

従って、コロニー（こばと学園、中央病院）においては、これまで実施してきた重症児者・家族への直接支援（入所支援、ショートステイ、レスパイト入院、NICU 等長期入院児支援等）や地域の人材育成、重症児者療育ネットワーク構築等の取組について、一層の充実を図るとともに、地域生活を支援する拠点センター機能を発揮するように現状及び課題を踏まえて、右表の対応を行うこととした。

また、拠点センター（重症心身障害児者支援センター）の機能等については、別紙のとおり案を整理したが、厚生労働省が実施する「重症心身障害児者支援体制整備モデル事業（※）」を参考にしながら、今後、「愛知県障害者自立支援協議会」から助言等を受け、重心療育ネットワーク会議等が中心となって実施をしたい。

なお、事業実施の財源は、「地域医療再生確保基金」及び既存事業の活用を図る予定である。

### ※「重症心身障害児者支援体制整備モデル事業」について

発達障害・重症心身障害児者の地域生活支援モデル事業の実施についての一部改正について（平成 27 年 5 月 13 日付け障発 0513 第 1 号厚生労働省障害保健福祉部長通知）

- 1 協議の場の設置
- 2 重症心身障害児者支援スーパーバイザーの配置
- 3 事業内容
  - ア 地域の重症心身障害児者支援体制構築等に対する支援
  - イ 重症心身障害児者を支援する人材育成 等

## コロニーとしての平成 28 年度の対応

### 1 相談支援体制の見直し

- (1) 相談窓口の一元化（三か所を一つに集約）
- (2) 相談支援事業所（28 年秋以降）の指定（計画相談・障害児相談・地域移行支援）

### 2 相談支援機能の充実（現状及び課題への対応）

#### (1) 重症児者の地域生活を支える体制等を整備・促進するための取組の充実

ア 入所やショートステイの利用希望を地域の関係機関と連携して地域のサービスにつなぐ。

イ 特にコロニーにおける入所の長期化、利用者の固定化を防ぐため、退所（院）後の生活を見据えて次の取り組みを進め、不足する福祉・医療サービス・支援体制づくりを働きかける。

具体的取組	効果
①面談等で聞き取った内容を評価（アセスメント）	・必要な支援、困りごと（家族の介護負担等）等の課題の顕在化
②市町村、各事業所、当事者等が参加するケア会議の開催	・アセスメントで得られた課題の共有化
②サービス等利用計画の作成（相談支援事業所）	・具体的な対応策の協議や、他の重心施設等との利用調整等
	・現実に不足する福祉・医療サービス資源の整備に活用

#### (2) 従来からの入退所やショートステイ等による支援の充実

ア 有期有目的を主体とした医療度の高い重症児者に特化した入所支援

イ 新設の重心施設の開所状況等を踏まえた地域移行（退所）支援

ウ ショートステイ、レスパイト入院、NICU 等長期入院児支援

エ 入通院患者、在宅療養指導患者等への相談援助等

### 3 地域生活を支援する拠点センター機能の充実

「愛知県障害者自立支援協議会」から助言等を受けながら、重心療育ネットワーク会議等を活用し、支援体制の構築等（「重症心身障害児者支援センター」の内容）に取り組む。

具体的取組	効果
①支援体制構築等への支援	・「県障害者自立支援協議会」と関係性を有することで「重症児者療育ネットワーク会議」の位置づけが明確化され、上記(1)(2)の取組と連動することで実効性ある地域支援体制の構築、人材育成が期待できる。
②人材育成	
③実態調査結果の分析	

### 4 今後の相談支援体制について

今後の入所者の移行や施設廃止、医療療育総合センター（仮称）の改築整備の進捗状況、県小児保健医療総合センターからの心療科移管の状況を見据えながら、発達障害支援の分野を含めた相談支援体制の充実を目指す。

## 別紙

### 「重症心身障害児者支援センター」について（案）

#### 1 今後の方向性

「愛知県障害者自立支援協議会（会長 高橋 脩 豊田市福祉事業団理事長）」を活用し、医療と福祉の連携を図りながら「愛知県重症心身障害児者療育ネットワーク会議（議長 麻生幸三郎こぼと学園長）」が中心となって、事業を実施する。

##### <活動方針>

重症心身障害児者及びその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、関係する分野との協働による切れ目のない支援等が可能となる体制の整備、地域生活支援の向上を目指す。

- 重症心身障害児者支援に係るサービス資源等の現状把握と対応策についての協議
- 重症心身障害児者実態調査の分析
- 重症心身障害児者支援に係る関係機関の連携の協議
- 重症心身障害児者支援に関わるコーディネーターの育成

#### 2 スーパーバイザーの配置

地域における重症心身障害児者の支援体制整備を間接的に支援するためのスーパーバイザーを配置する。（相談支援アドバイザー事業の活用）

（スーパーバイザーの選任は別途）

#### 3 事業の内容

重症心身障害児者の地域支援体制の整備を広域的に推進するため、「障害児等療育支援事業実施機関」、「愛知県障害医療連絡協議会」等と連携し、地域への間接的支援として、次の取組を実施する。

##### ア 地域の重症心身障害児者支援体制構築等に対する支援

重症心身障害児者の地域支援体制が構築され、効果的な支援が行われるよう、医療、福祉、教育等の関係機関の連携体制の構築のための助言その他の必要な支援を行う。

また、重症心身障害児者ごとの個別支援がより効果的に行われるよう、関係機関の協働方法についての助言その他の必要な支援を行う。

##### イ 重症心身障害児者を支援する人材育成

地域の重症心身障害児者を支援する人材を育成するため、児童指導員、保育士、看護師、医師、教員等を対象として研修を実施する。

なお、研修では、重症心身障害児者支援者養成研修プログラム及び重症心身障害児者支援者養成研修テキスト（「在宅重症心身障害児者を支援するための人材育成プログラム開発事業」（平成26年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業）において開発・作成）を活用する。

##### ウ その他

重症心身障害児者に対する支援を提供する地域資源に関する情報を収集・整理し、地域住民に対する情報発信を行うなど、地域支援体制の整備を広域的に推進するための取組を実施する。

## 参 考

### 医療療育総合センター（仮称）の整備スケジュール（予定）

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		★ 28年6月 重心棟開所		★ 31年3月 本館棟開所	
← 第1期工事(重心・機能訓練棟) 建設工事 →		解体	← 第2期工事(本館棟) 建設工事 →	← 解体・外構工事等 →	
本館棟開所時期は工期の確定後に決定予定					

### <参考 新設重心施設の開所時期等>

★ 27年5月 ティンクルなごや開所	★ 28年1月 一宮センター開所	★ 28年4月 三河青い鳥開所	★ 29年度 明世会(豊川市)		
-----------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--	--

### 心身障害者コロニー入所者の移行状況等

施設名		18.4.1 入所者数	地域生活 移行計画	移行実績 (28.2.1)	移行率	28.2.1 入所者数	備 考
重 心	こぼと学園	174人	110人	29人	26.4%	140人	うち 児童4人
知 的 障 害	はるひ台学園	87人	87人	47人	54.0%	40人	うち 児童11人
	養 楽 荘	140人	140人	114人	81.4%	34人	(H28年度 廃止予定)
	春日台授産所	57人	57人	48人	84.2%	-	H21.4.1 廃止
	小 計	284人	284人	209人	73.6%	74人	
合 計		458人	394人	238人	60.4%	214人	

(注) 春日台授産所は平成21年4月1日で廃止し、計画は養楽荘で引き継いだ。